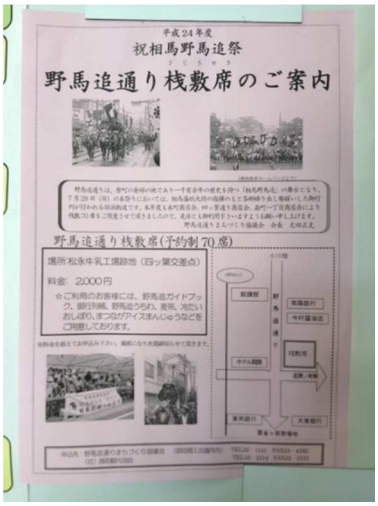
南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。**同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行　NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、
新聞 PDF 置場　http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html



南相馬市から7月12日夜

2012-07-12 18:07:22

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/69ec37911b80c1427f283835c269f7bc

『廃業』

今日で、廃業する八百屋さんがいます。お父さんの時代から長年にわたって続いてきた、古い八百屋さんです、20年前ぐらいにお父さんが亡くなって、急遽、他の土地で生活していましたが、後を次ぐために帰ってきて、お母さんとお店をやってきましたが、震災後客数の減少や得意先の廃業などで経営も苦しくなったいたのかも知れませんが、ただ、やめるにあたっては誰にも迷惑かけることなく廃業できるようです。私より10歳ほど若いから残念ですね、高齢の方たちはやめていくのはある意味わかりますが、若い世代が商いが成り立たなくなっているこの町の現状は今後も厳しくなるようです。復興、除染のために多くの企業が入ってきているから、その人たちのまかない食事などの食材の提供で小さなお店も潤うはずなのに、今は大手ほど全部協力企業がくっついてきて、やってしまうので、地元には還元されないようです。くしくも、6月の南相馬市市議会の冒頭に知り合いの議員さんが、質問で多くの企業が入ってくるが、そうした企業の食材提供にぜひ地元のお店を使っていただくようにと市に要請しましたが、いまだにお話はきません。受け入れ先として、原町青果組合を挙げておきましたが、そのためにも役員の改選をして準備していたのですが、残念ですね。

そういえば、その亡くなったお父さんは(美味しいかぼちゃ)の見分け方がうまくて、家の親父が私にあの人の買うかぼちゃを良く見ておけと、わからない時はその人の買うかぼちゃを追っかけても(セリで後だしして買うこと)高くなっても間違いないかぼちゃだからと言っていました。目利きの良い八百屋さんでした。その人の腕を盗む前に亡くなってしまったので、今、かぼちゃが沢山、市場に出ていますが、あの親父さんだった

###

南相馬市から7月11日火朝　サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を経営しています。 新鮮な話題をお届け！　2012-07-11 05:03:00

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/a8dcf57c8fa2b9553d7650df694f7dce

『野馬追い祭り』

今年から開催日が7月の最終の週末に変わりました、いつもは7月22、23, 24日と日にちが決まっていましたが、今年は7月28、29、30、土、日、月です。

この町では野馬追いが梅雨明けになります、例年野馬追いは晴れます、それも暑くなります、

だから、野馬追いの会場では、照り返しが厳しく、見ている方たちも異様な暑さで大変です。

私も一度、岐阜の親戚を連れて行ったのですが、ひどい目に(暑くていられませんでした)遭いました。それ以来、行っていません、知り合いにもすすめられないでいます。曇りぐらいだと良いのですが、会場の座っている土、草、の異様な照り返しからくる、暑さ、今思い出すのも嫌なくらいな記憶しかありません。だから毎年、町の人たちはどこかへ行ってしまい(会社が野馬追休み)お店も暇になります、ずっと以前は各家に野馬追いのお客さんがくるので忙しいこともありましたが、年月と共に減っていき今では来なくなってしまいました、一度あの暑さを体験したらもう勘弁してほしいと思います。今年は観光客の方が多いように聞いています。ただ宿泊先が足らないようで、泊まるのは福島市だったりするようですが、あまり地元にはお金は落ちないようです、サイヤでは少しお弁当の注文がきてはいます。来なかったら休もうかなと思っていたくらい、暇なんですよ。

らどのかぼちゃを買うのかな？と考えてしまいます。私の情報源は農家の方ですが、美味しいものは、簡単に言えばやっぱり手間暇かけたものだそうです。深いですよ。

##

アラさがし　・・・　自分はどうか？　負けてらんにぇ！みんなでなんとかすっぺ！！

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。 2012-07-08 08:25:42

http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/4421d535da1047ed53b41d0e25a1d778

遠足

人間　だれでもそうですが
他人のアラは　じつによく見えます。
自分のアラは　サッパリ見えません。

肉体とちがって精神面は　鏡に映すことができないからでしょうか　？

これに加えて
自分の欠点は認めたくないという我がまた　たいていの人にあります。
そこでどうしても　他人に辛く　自分に甘いということになりますね。

人の世の人間関係がむずかしいことの一半の因は
多くの人が　こういう自己中心の見かたに立つことにあるのではないでしょうか。

自分は　欠点だらけのくせに
神のような姿勢をとって　他人の非だけをみて裁きます。
人と人の仲がトゲトゲしくならなかったら
・・・　むしろ　そのほうがフシギです。

人間同士は　たがいに鏡のようなものです。
相手のなかに　自分を見ています。

だから　ある人の欠点やマチガイを見て
それが　気になったり　苦になったり　咎めたくなる
腹がたつ　ケシカランと思うというときには　間違いなく
・・・　トンデモナイ！　と言いたいでしょうが　・・・
それと同一の　あるいは　同質の非が　・・・　自分にあるものです。

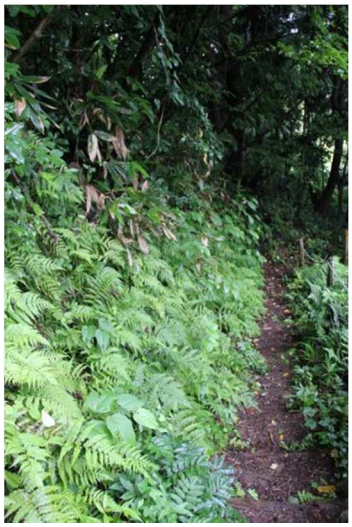
自分に　そういう非がないときには
他人の非が見えても　それが気になりません。
そういう人のみが　他人の非に対して
愛をもって　・・・　効ある忠告ができるのだと思います。

よしあしは向こうにあらで我にあり　心直らば影は曲がらじ　・・・　ですね。

人生の分かれ道　・・・　ゆったりと過ぎし日を

2012-07-15 21:45:21

http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/87e936c63e7b0dfbc2fe4b570945125e



散歩

人生に疲れた人
苛立つ人
何のために生きているのかわからない人
食うためにのみ働く人
そうした　あくびの出るような生活をしている人にとって
・・・　人生は　長いはずです。

しかし　同じ六十年でも　・・・
自分の生きる真の目的を知り

労働を生き甲斐とし
何かを創造しようとはげんでいる人にとって
・・・　その歳月は　実に短いのです。

そして　倦怠の人生を歩んできた人ほど
・・・　老いて　みじめになります。

ふりかえって　自分を満たしてくれる過去の生活がなかったからです。

生活に工夫をこらし
つまらないと思う仕事をも　楽しみにつくりかえ
人生を　興奮しながら生きぬいた人は　・・・
ゆったりと過ぎし日をなつかしみ
一日一日を満たされて　すごしてゆくのです。

味気ない人生だったか
素晴らしい一生だったか
分かれ道(岐路)は　・・・　ここにあるのではないでしょうか。

##

今日のできごと　7 月 12 日(木)南相馬市生活復興ボランティアセンターのブログ　2012-07-12 18:37:58
http://ameblo.jp/minamisoma-svc/entry-11300804132.html

今日は、たくさんのボランティアさんが来てくださいました。
そのなかの1団体をご紹介いたします。
長野県から来ていただいた団体さん、23名でいらっしゃいました。

集会所でそば打ちを披露してくださいました。

ありがとうございました。

仮設住宅支援ボランティア活動は、活動場所　14件
活動いただいた方　50人でした。
ありがとうございました。

屋外ボランティア活動について
7月13日(金)のニーズ件数は4件
ボランティア人数　40人程度 を予定しています。
7月14日(土)のニーズ件数は3件
ボランティア人数100人程度 を予定しています。
7月15日(日)のニーズ件数は3件
ボランティア人数　80人程度 を予定しています。
7月16日(月・祝)のニーズ件数は2件
ボランティア人数　40人程度 を予定しています。

みなさんのご協力をお願いします。
○祝日(海の日)の対応について
7 月 16 日(祝・月)は、屋外ボランティア活動の受付を行います。よろしくお願いいたします。

○相馬野馬追の対応について
7 月 28 日・29 日(土・日)は、相馬野馬追のためボランティアさんの受付をしません。こちらにいらっしゃる方は、ぜひ相馬野馬追をご覧ください。

##

【南相馬市博物館】平成 24 年度特別展 相馬のたから 相馬野馬追　ゆっ太郎 (2012.07.10 10:30) 相双ゆたどさ ゆったりがどっさり。～ふくしま相双～
http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/5802.html
南相馬市博物館で、6/30(土)より『平成 24 年度 特別展 相馬のたから 相馬野馬追』が、開催されています。(8/19(日)まで)

例年、野馬追の時期に開催される南相馬市博物館の相馬野馬追展。
相馬野馬追の、ほぼすべての行事が2年ぶりに開催されることが決定した今年の展示は相馬のお家が代々受け継がれてきた相馬領民の「平和」と「繁栄」を祈る
野馬追が本来持っていた「祈り」と「願い」の精神を正しく理解するための展示構成となっています。

奈良や平安の昔から野生馬を捕獲し、駿馬を奉納して国家安寧や鎮護、武運長久、豊穣を神に祈ってきました。
時代が経つにしたがい、御神馬の奉納は絵馬にかわり合格祈願などで現在につながります。

相馬野馬追の最終日の「野馬懸」は相馬の鎮守である妙見様に捧げる御神馬にその願いを託す、神聖な行事として受継がれてきました。

展示物の中には、17 メートルにもおよぶ江戸時代の野馬追の様子や、原町(旧宿場町・中の宿)の「茶屋町」を描いた
『野馬追図絵巻』の展示の他(開催期間中、展示部分を替えて展示の予定との事です)
明治時代後期から昭和初期に野馬追の様子が撮られた『絵はがき』などなど
貴重な資料の数々が展示されています。

今年初めて『相馬野馬追』を観覧される方、何度も見ている方
そして地元の方々、『相馬野馬追』本来の意味を一緒に考えながら
7 月 28、29、30 日に開催される『相馬野馬追』をご観覧ください。

_/
◇南相馬市博物館
開館時間:9:00～16:45(最終入館 16:00)
休館日:
・毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌平日)
・12 月 29 日から翌年 1 月 3 日
・相馬野馬追最終日の月曜日は開館(翌日休館)
住所:福島県南相馬市原町区牛来字出口 194
TEL:0244-23-6421
観覧料、その他詳細は
URL:南相馬市博物館
(http://www.city.minamisoma.lg.jp/hakubutsukan/museum.jsp)
_/